



子孫へ継げる町づくりへ

羽幌町長 駒井 久晃

新年 明けましておめでとうございませう。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町の活性化のためにご尽力を賜り、さらには町政に対し、深いご理解と温かいご支援・ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、北海道日本ハムファイターズ応援大使市町村として、まちの魅力を積極的にPRしてまいりました。4月には、汚水処理共同施設が完成し、し尿処理方法が新しくなり、天売高校では、PR事業の効果により島外から生徒2名が入学いたしました。7月には、天売島の海鳥保護対策として天売猫の譲渡会を開催、また、11月には焼尻島にこどもサ

ロンを開設したほか、今年度から、乳幼児に係る任意予防接種費用の助成も開始したところであります。

基幹産業の農業については、農作物全般には平年並みの収量となり、水稲においては、品質も平年並みを維持しており、羽幌産米の生産出荷の促進に期待を寄せております。

漁業については、多くの魚種で魚価の上昇がみられましたが、魚種によっては漁獲量が減少し、特に主力である「エビ」については、年初めからの減少により大幅な落ち込みを見せました。しかしながら、「ヤリイカ」は二十数年ぶりに大幅な漁獲増となりましたことなど、魚種によっては漁獲量が上昇していることもあり、本年も豊漁の一年となるよう願っております。

また、町では、公共施設の現状の把握と適切な維持管理を行うとして、昨年11月、「羽幌町公共施設マネジメント

計画」を策定いたしました。今後は、適切な財政管理のもと、効率的かつ効果的な施設管理を進めてまいります。

また、昨年の8月には4つの台風により、道内では過去最悪の大雨被害となりました。改めて自然災害の恐ろしさを痛感したところであり、防災対策に万全を期すべく、気持ちを引き締めるところであります。

今後も様々な課題は山積いたしますが、懸案でありました羽幌小学校の改築工事も本年10月の完了を目指し進めております。しかし、羽幌保育園は、園児数の状況や園舎の老朽化等により、本年3月末をもって閉園することといたしました。今後は、町内にあ

る二つの園により保育や幼稚園事業を担っていたべくものとなりますが、受入れが困難な児童にも十分に留意しつつ、町として、子育て支援センターを拡充し、開設時間の延長や新たな事業を組み込みながら子育て支援に取り組んでまいります。

また、新たな取組として、登別市長のご紹介により、神奈川県海老名市において本町との「エビ繋がり」として、イベントへの参加や特産品販売等の地域間交流を進めることとしており、その他の施策についても、積極的に対応してまいりたいと考えております。

本年も、町民の皆さまから寄せられる声に耳を傾け、未来につながる「まちづくり」を職員とともに進めてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆様には、今年一年何よりもご健康でありますこと、そして皆様にとつて、より良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



町民の皆様と共に進む議会を目指して

羽幌町議会議長 森

淳

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、わが国の景気は、緩やかな回復基調が続いていると言われている一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念される状況にもありました。本町はじめ地方では、景気回復基調があまり感じられず、依然、雇用等も厳しい状況にあったと思われま

す。このような中、熊本地震が発生し、人的・物的被害が甚大なものとなりました。また、4つの台風が相次いで道内に接近、上陸し、台風10号の大雨で、道路、鉄道、1次産業に大きな被害が生じるなど、自然の脅威を改めて痛感したところであります。一方、

待望の北海道新幹線の開業、リオ五輪での日本史上最多メダル獲得、大隅東京工業大栄誉教授のノーベル賞受賞など、夢と感動を与えてくれた1年でもありました。

本町では、広域のし尿前処理施設が稼動を開始し、羽幌小学校改築では2学期から新教室での授業もスタートしております。また、長年の懸案でもありました新築別橋が完成し、全面開通となるなど、環境や利便性の向上にも期待をしているところであります。

農業では、台風の影響による風害も一部ありましたが、農作物全般において昨年並みの収量となりました。漁業では、前年に対し総漁獲量は増加したものの、販売取扱高が減少しており、特に主力の甘えび漁が不漁となっている状況を懸念しております。商工業では、好評のプレミアム

付商品券や、スタンブラリーによる消費購買力向上に向けた取り組みが、引き続き行われております。各産業とも未だ厳しい情勢にありますが、経営安定に向けた取り組みが今後必要不可欠と認識しております。

また、ご承知のとおり議会だより「ピッシリ」が、平成2年の創刊号発刊以来、昨年10月で発刊100号の節目を迎えました。今後においても鋭意努力し、多くの皆様に読んでいただける広報誌となるよう頑張っております。

さて、議論を重ねておりました羽幌町公共施設マネジメント計画については、昨年11月に策定されましたので、今後は個別案件の議論をしまいりたいと考えております。また、羽幌保育園閉園など結論に至った案件もありましたが、産業廃棄物埋立処分場、焼尻めん羊牧場、羽幌港のア

クセス道路や静穏度対策、空き家対策問題等は、今後も引き続き議論をしままいります。重要課題の医療体制の充実では、関係機関に対し要請活動も行っておりますが、現在、道においては道立羽幌病院も含む「北海道病院事業改革推進プラン(仮称)」の策定作業を行っており、この動向にも注視してまいりたいと考えております。

本年は、議員任期の折り返しの年となります。議会改革も含め、引き続き山積する課題解決に向け、皆様の立場に立つて誠心誠意努力をいたす所存でありますので、今後においても一層のご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとつて健康で喜びと幸せに満ちた一年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。